

## 原道小学校感染対策6月版

養護教諭

## 1 感染対策1日の流れ

(1) 登校時に玄関前で手指消毒

(2) 健康観察

- 児童一人一人の体調を確認する。(顔色・げんきアップカード)
- 体温未記入の者は検温し記入させる。**赤ペンでチェック!**
- 養護教諭は、児童の様子やげんきアップカードから必要な場合に、早退の対応をとる。
- ※ 迎えに来る保護者には校庭側から保健室に来るよう伝える。
- 欠席・出席停止の扱い



① 出席停止とする

- ◇ 児童が陽性又は濃厚接触者 ⇒ 「新型コロナウイルス感染症聞き取りメモ」で聞き取る。
- ※ PCR検査を受ける場合も、検査日と結果が出る日を聞き取る。

◇ ワクチン接種・副反応

② 登校を控えるようお願いする=但し保護者判断で登校も可とする(出席停止)

- ◇ 児童や同居家族に風邪症状がある場合
- ◇ 児童や同居家族がPCR検査を受ける又は受ける可能性がある場合
- ◇ 同居家族が濃厚接触者、

③ その他の感染不安=保護者判断(出席停止)

- 例：児童が感染の可能性があり、感染を拡大させてしまうかもしれない不安
- ・ 病 欠：けが、既往症等の通院



(3) 手洗い・手指消毒・マスク

- ハンカチ・ティッシュ忘れば貸し出し、マスク紛失等は学校備品を渡す。

(4) 「3密」回避の徹底

- 冷房効率の観点から少なくとも休み時間には、対角線上2方向の窓を開けて(最低10~20cm幅)換気。
- ※ 測定器でCO2濃度が1500ppm以下、加湿器を使用し湿度30%以上となるようにする。
- 身体的距離が保てるような並び方や座席の向きに配慮する。

(5) フェイスシールドの着用と消毒

- 向かい合う活動をする際は、マスクとフェイスシールドを併用する。
- 音楽の授業等で楽器演奏に伴いマスクの着用が難しい場合は、身体的距離を保った上でフェイスシールドを活用する。

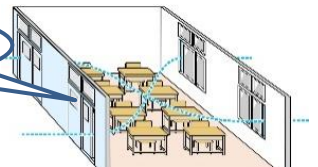


- 使用した日の下校前までに消毒する。

CO2: 1500ppm以下

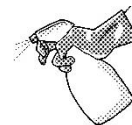
(6) 給食

- 机は向かい合わせせず前向きにし、会話を控える。(歯みがきも同様に。)



(7) 清掃

- 通常の清掃活動の範囲で清掃し、特別な消毒作業の必要はない。



(8) 放課後の消毒作業

- 日直はドアノブや階段手すり等、大勢が触れる箇所を消毒する。

## 2 学習活動

- 歌唱や調理実習は中止する。なお、今後の国や県、市の方針に基づき随時検討する。
- 体育は、熱中症予防の観点から、マスクを外して実施する。正し、身体的距離を保つなど感染対策をする。
- 集会等で全校が集まる場合は、外またはGoogle meet等でオンライン開催する。
- 身体の抵抗力を高めるため、「十分な睡眠」「適度な運動」「バランスの取れた食事」について指導する。

## 3 感染者が発生した場合

- 保健所の指示に従い、行動歴の確認や消毒作業、臨時休業等を実施する。
- 学校医、学校薬剤師と連携し、対策を実施する。
- ガウン、ゴーグル、ヘアキャップ、シューズカバー、手袋、消毒液、抗原検査キット等は保健室保管済み。

## 4 教職員の健康管理

- 毎日検温し記録しておく。感染症予防に十分配慮し、体調がすぐれない場合は、無理をせず管理職へ連絡し休暇の対応をとる。出勤後に発熱等の風邪症状がある場合、抗原検査キットを使用してもよい。